

第4章 水道財政の概要

水道事業を取り巻く経営環境は、節水機器の普及・高性能化や企業のコスト削減などによる水需要の減少等により、非常に厳しいものとなっています。一方で、高度経済成長期に建設した多くの水道施設の老朽化が進んでいることや、今後、横浜市において大地震の発生が懸念されることから、施設の更新・耐震化や災害対策の強化が喫緊の課題となっています。

このため、徹底した事業見直しによるコスト削減や、適切な企業債の活用、料金改定（令和3年7月施行）等により、財政基盤の強化を図り、将来に向けて持続可能な事業運営を行っていきます。

6年度決算のポイント

令和6年度の水道料金収入は、前年度に比べ税込で2億円（0.3%）増の768億円となりました。

使用水量は、主にご家庭で使われる口径13～25mmは前年度に比べ78万 m^3 （0.2%）減少しました。一方、大型商業施設や宿泊業など主に事業用で使われる口径40mm以上では46万 m^3 （0.8%）増加しました。

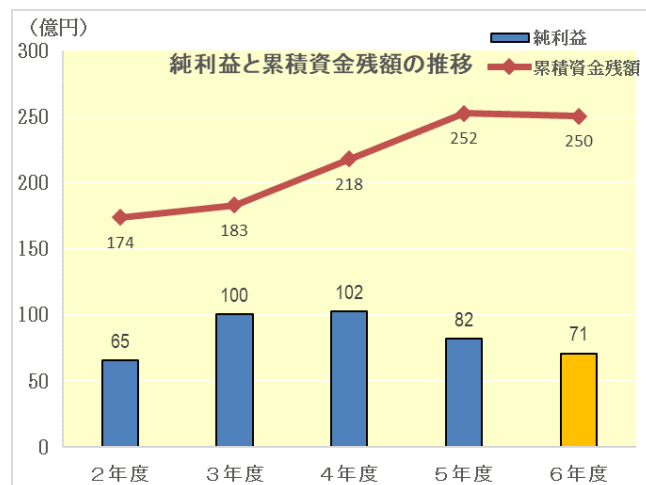
純利益は、料金収入が2億円増加した一方で、支出において労務単価の引上げや物価上昇等により、修繕費が11億円の増加したため、前年度に比べて11億円減の71億円となりました。

累積資金残額は、前年度とほぼ同額の250億円となりました。

西谷浄水場再整備事業の進捗に伴い、施設更新費用が増大したため、企業債残高は前年度に比べて108億円増加し、1,765億円となりました。

〔収益的収支及び企業債残高〕 (億円、税込)

	6年度	5年度	増 減
収益的収入	939.6	931.6	8.0
うち水道料金収入	768.2	765.5	2.7
うち特別利益	2.2	0.0	2.2
収益的支出	830.8	815.2	15.6
うち修繕費	130.8	120.0	10.8
純利益	70.6	81.5	-10.9
(経常利益)	(68.4)	(81.5)	(-13.1)
累積資金残額	250.2	252.3	-2.1
企業債残高	1764.9	1,656.5	108.4



※金額の表示単位を億円未満で四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。

(1) 決算概要表

(単位：円)

年 度				R 4		5					
項 目											
収 入	水 道 料 金 他 会 計 繰 入 金 浄 水 受 託 収 益 水 道 利 用 加 入 金 長 期 前 受 金 戻 入 そ の 他 益 特 別 利 益 計	収 入	金	76,385,645,175	103.3	76,553,315,953	100.2				
				6,301,940,718	105.4	6,420,431,087	101.9				
				1,728,739,155	99.9	1,733,975,100	100.3				
				1,377,303,000	95.4	1,328,204,500	96.4				
				4,941,076,706	98.8	4,868,619,818	98.5				
				2,385,040,047	108.1	2,251,067,895	94.4				
				0	-	0	-				
	93,119,744,801	102.8	93,155,614,353	100							
	支 出	人 件 費 物 件 費 動 力 費 薬 品 費 修 繕 費 委 託 料 そ の 他 企 業 団 受 水 費 企 業 団 補 助 金 減 価 償 却 費 支 払 利 息 計	支 出	費	11,181,306,934	100.9	11,374,302,965	101.7			
					26,329,541,196	106.6	26,779,001,167	101.7			
3,467,088,923					165.8	2,936,489,647	84.7				
530,834,466					102.3	540,348,358	101.8				
11,080,100,679					108.1	11,998,039,525	108.3				
6,907,037,224					102.6	7,400,569,902	107.1				
4,344,479,904					85.0	3,903,553,735	89.9				
16,605,529,820					98.9	17,036,791,794	102.6				
0					-	0	-				
23,866,415,631					101.6	24,281,990,545	101.7				
収 益 的 収 支 差 引	消 費 税 等 調 整 額 純 損 益	収 益 的 収 支 差 引	差 引	2,019,322,171	93.1	2,047,329,346	101.4				
				80,002,115,752	102.3	81,519,415,817	101.9				
				13,117,629,049	-	11,636,198,536	-				
				2,891,915,259	-	3,483,709,491	-				
				10,225,713,790	-	8,152,489,045	-				
				資 本 的 収 入	企 業 債 (うち借換債) 一 般 会 計 出 資 金 国 庫 補 助 金 等 工 事 負 担 金 等 そ の 他 計	資 本 的 収 入	債 権	12,293,000,000	87.9	18,405,000,000	149.7
								()	-	(1,570,000,000)	-
								3,339,000,000	526.7	2,022,000,000	60.6
								392,033,000	742.6	901,835,000	230
								1,259,132,031	101.7	1,137,261,979	90.3
7,250,350	37.6	6,775,336	93.4								
17,290,415,381	108.6	22,472,872,315	130.0								
支 出	建 設 改 良 費 基幹施設整備事業費 配水管整備事業費 その他建設改良費 企 業 債 償 還 金 企 投 資 計	支 出	費					35,340,502,051	121.1	42,005,649,071	118.9
								6,637,041,846	134.5	12,966,880,420	195.4
								27,377,766,232	122.2	27,220,259,083	99.4
				1,325,693,973	72.4	1,818,509,568	137.2				
				8,547,525,339	62.5	11,096,150,220	129.8				
				11,565,341	88.4	36,178,683	312.8				
				43,899,592,731	102.4	53,137,977,974	121				
				資 本 的 収 支 差 引	△ 26,609,177,350	-	△ 30,665,105,659	-			
				補 填 財 源	30,106,109,601	-	34,120,404,593	-			
				当 年 度 資 金 収 支	3,496,932,251	-	3,455,298,934	-			
前 年 度 末 資 金 残 額				18,281,263,543	-	21,778,195,794	-				
累 積 資 金 残 額				21,778,195,794	-	25,233,494,728	-				
建 設 改 良 積 立 金				9,056,094,987	-	12,241,216,236	-				
西谷浄水場再整備特別積立金				12,722,100,807	-	12,992,278,492	-				

(注) 1 計数は税込み。指数は対前年度比。

2 他会計繰入金には、一般会計補助金を含みます。

(単位：円)

年 度		6		7 (予算)	
項 目					
収 入	水道料金	76,820,432,895	100.3	76,250,279,000	99.3
	他会計繰入金	6,665,844,262	103.8	6,757,987,000	101.4
	浄水受託収益	1,729,500,630	99.7	1,730,264,000	100.0
	水道利用加入金	1,342,119,500	101.0	1,439,900,000	107.3
	長期前受金戻入	4,765,093,735	97.9	4,635,916,000	97.3
	その他の利益	2,424,945,738	107.7	2,408,672,000	99.3
	計	215,042,626	-	0	-
		93,962,979,386	100.9	93,223,018,000	99.2
支 出	人件費	11,703,334,438	102.9	12,074,954,000	103.2
	物件費	28,082,664,085	104.9	29,960,264,000	106.7
	動力費	2,966,941,906	101.0	3,340,957,000	112.6
	修繕費	562,766,966	104.1	690,867,000	122.8
	委託料	13,075,975,164	109.0	13,196,055,000	100.9
	その他の他費	7,473,365,457	101.0	8,429,583,000	112.8
	企業団受水費	4,003,614,592	102.6	4,302,802,000	107.5
	企業団補助金	16,984,675,455	99.7	16,893,070,000	99.5
	減価償却費	0	-	0	-
	支払利息等	24,188,530,110	99.6	24,183,564,000	100
収 益 的 収 支 差 引	計	2,117,080,133	103.4	2,750,968,000	129.9
		83,076,284,221	101.9	85,862,820,000	103.4
資 本 的 収 入	企業債	22,788,000,000	123.8	27,579,000,000	121
	(うち借換債)	(2,173,000,000)	-	(4,010,000,000)	184.5
	一般会計出資金	2,161,000,000	106.9	2,450,000,000	113.4
	国庫補助金等	2,350,949,000	260.7	2,512,038,000	106.9
	工事負担金	1,208,274,090	106.2	1,146,033,000	94.8
	その他の他	6,675,748	98.5	27,690,000	414.8
	計	28,514,898,838	126.9	33,714,761,000	118.2
支 出	建設改良費	45,921,664,094	109.3	50,748,191,000	110.5
	基幹施設整備事業費	16,779,732,365	129.4	16,567,000,000	98.7
	配水管整備事業費	27,422,087,821	100.7	32,454,000,000	118.3
	その他建設改良費	1,719,843,908	94.6	1,727,191,000	100.4
	企業債償還金	11,943,183,427	107.6	15,313,025,000	128.2
	投資等	18,588,131	51.4	41,080,000	221
	計	57,883,435,652	108.9	66,102,296,000	114.2
資 金 収 支	資本的収支差引	△ 29,368,536,814	-	△ 32,387,535,000	-
	補填財源	29,158,049,217	-	27,536,869,000	-
	当年度資金収支	△ 210,487,597	-	△ 4,850,666,000	-
前 年 度 末 資 金 残 額		25,233,494,728	-	((25,023,007,131))	-
				21,540,562,000	-
累 積 資 金 残 額		25,023,007,131	-	((20,172,341,131))	-
				16,689,896,000	-
建 設 改 良 積 立 金		11,823,810,812	-	-	-
西 谷 浄 水 場 再 整 備 特 別 積 立 金		13,199,196,319	-	-	-

(注) 3 7 (予算) の前年度末資金残額及び累積資金残額の(())は、6年度決算により置き換えた額。

4 7 (予算) の「収益的収支」「支出」「物件費等」「その他」には特別損失及び予備費、「資本的収支」「支出」「投資等」には予備費及び国庫補助金返還金を含む。

(2) 損益計算書

(単位：円)

項 目	年 度	R 4	5	6
1 営 業 収 益		78,465,669,046	78,563,154,539	79,133,908,471
(1) 給 水 収 益		69,448,828,238	69,601,628,837	69,842,976,558
(2) 受 託 工 事 収 益		212,075,082	196,185,730	193,590,202
(3) そ の 他 営 業 収 益		8,804,765,726	8,765,339,972	9,097,341,711
2 営 業 費 用		72,989,415,007	75,056,642,346	76,799,560,663
(1) 原 水 費		3,074,287,738	2,993,327,370	3,102,209,709
(2) 浄 水 費		19,240,511,495	19,587,379,930	19,738,824,285
(3) 配 水 費		14,336,923,322	14,896,703,040	15,900,117,374
(4) 給 水 費		2,292,983,221	2,594,149,364	2,706,686,349
(5) 受 託 工 事 費		227,831,024	208,946,473	213,719,272
(6) 業 務 費		5,605,491,313	5,914,263,121	5,964,932,963
(7) 総 係 費		4,389,143,151	4,627,161,582	4,824,437,532
(8) 減 価 償 却 費		20,284,455,573	20,526,894,303	21,070,873,209
(9) 資 産 減 耗 費		3,537,788,170	3,707,817,163	3,277,759,970
営 業 利 益		5,476,254,039	3,506,512,193	2,334,347,808
3 営 業 外 収 益		6,839,255,553	6,762,713,246	6,726,148,397
(1) 受取利息及び配当金		306,188	465,495	18,276,438
(2) 一 般 会 計 補 助 金		53,475,000	52,227,000	58,744,000
(3) 造 林 補 助 金		5,976,879	8,351,350	4,198,545
(4) 水 道 利 用 加 入 金		1,252,080,000	1,207,424,545	1,220,156,705
(5) 長 期 前 受 金 戻 入		4,941,076,706	4,868,619,818	4,765,093,735
(6) 雑 収 益		586,340,780	625,625,038	659,678,974
4 営 業 外 費 用		2,089,795,802	2,116,736,394	2,199,963,714
(1) 支 払 利 息 及 び				
企 業 債 取 扱 諸 費		2,018,795,057	2,046,243,264	2,116,205,783
(2) 減 価 償 却 費		17,843,315	17,843,315	16,768,640
(3) 資 産 減 耗 費		0	0	2,169,464
(4) 雑 支 出		53,157,430	52,649,815	64,819,827
経 常 利 益		10,225,713,790	8,152,489,045	6,860,532,491
5 特 別 利 益		0	0	195,493,297
(1) そ の 他 特 別 利 益		0	0	195,493,297
当 年 度 純 利 益		10,225,713,790	8,152,489,045	7,056,025,788
前年度繰越利益剰余金		0	0	0
そ の 他 未 処 分 利 益				
剰 余 金 変 動 額		6,728,781,539	4,697,190,111	7,266,513,385
当年度未処分利益剰余金		16,954,495,329	12,849,679,156	14,322,539,173

(3) 貸借対照表

(単位：円)

年 度		R 4	5	6
項 目				
資 産 の 部	1 固 定 資 産	615,505,312,127	629,156,831,963	647,346,927,607
	(1) 有 形 固 定 資 産	528,290,390,089	542,660,480,049	561,758,619,662
	(2) 無 形 固 定 資 産	10,396,892,790	9,677,689,991	8,788,204,894
	(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	76,818,029,248	76,818,661,923	76,800,103,051
	2 流 動 資 産	56,619,761,297	64,299,549,111	69,018,312,910
	(1) 現 金 ・ 預 金	41,281,741,367	48,970,410,317	53,620,374,294
	(2) 未 収 金	12,026,479,028	10,781,417,132	11,028,197,492
	(3) 貯 蔵 品	552,981,922	486,474,092	366,062,544
	(4) 前 払 費 用	14,344,080	11,495,970	13,772,380
	(5) 前 払 金	2,744,214,900	4,049,751,600	3,989,906,200
	(6) 未 収 収 益	0	0	0
	資 産 合 計	672,125,073,424	693,456,381,074	716,365,240,517
負 債 の 部	3 固 定 負 債	170,072,252,501	176,117,844,510	182,806,998,084
	(1) 企 業 債	147,240,931,991	153,702,748,771	161,177,724,344
	(2) P F I 債 務	7,116,030,511	6,444,943,002	5,764,141,481
	(3) リ ー ス 債 務	278,760,130	203,125,373	222,618,583
	(4) 引 当 金	15,436,529,869	15,767,027,364	15,642,513,676
	4 流 動 負 債	38,793,483,210	46,489,418,780	53,785,603,903
	(1) 企 業 債	11,096,151,000	11,943,184,000	15,313,025,000
	(2) P F I 債 務	759,151,033	671,087,509	680,801,521
	(3) リ ー ス 債 務	151,230,574	123,369,950	138,317,300
	(4) 未 払 金	20,699,652,302	27,692,677,302	31,470,213,449
	(5) 前 受 金	92,618,601	178,935,193	204,634,265
	(6) 前 受 収 益	31,963,580	20,719,424	22,639,069
	(7) 預 り 金	4,957,376,343	4,789,307,899	4,807,004,979
	(8) 引 当 金	1,005,339,777	1,070,137,503	1,148,968,320
	5 繰 延 収 益	70,269,663,257	67,684,771,466	67,391,266,424
	(1) 長 期 前 受 金	70,269,663,257	67,684,771,466	67,391,266,424
	負 債 合 計	279,135,398,968	290,292,034,756	303,983,868,411
資 本 の 部	6 資 本 金	362,116,882,410	370,867,663,949	377,725,854,060
	7 剰 余 金	30,872,792,043	32,296,682,369	34,655,518,046
	(1) 資 本 剰 余 金	2,365,814,710	2,365,997,530	2,365,997,530
	(2) 利 益 剰 余 金	28,506,977,333	29,930,684,839	32,289,520,516
	資 本 合 計	392,989,674,453	403,164,346,318	412,381,372,106
	負 債 資 本 合 計	672,125,073,421	693,456,381,074	716,365,240,517

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

年 度	R4	R5	R6
1 業務活動によるキャッシュ・フロー	28,306,253,211	28,512,141,889	27,156,573,360
当年度純利益	10,225,713,790	8,152,489,045	7,056,025,788
減価償却費	20,302,298,888	20,544,737,618	21,087,641,849
固定資産除却費	3,537,788,170	3,707,392,939	3,066,881,070
長期前受金戻入額	△ 4,941,076,706	△ 4,868,619,818	△ 4,765,093,735
受取利息	△ 306,188	△ 465,495	△ 18,276,438
支払利息	2,018,795,057	2,046,243,264	2,116,205,783
固定資産売却益	0	0	△ 28,771,069
固定資産売却損	0	0	255,734
未収金の増減額	142,179,555	△ 47,264,344	△ 327,195,968
未払金の増減額	△ 633,368,109	738,429,616	878,641,063
前払費用の増減額	△ 2,968,940	2,848,110	△ 2,276,410
前受金の増減額	△ 21,070,580	13,721,470	7,113,803
前受収益の増減額	1,323,274	△ 11,244,156	1,919,645
預り金の増減額	△ 35,871,929	△ 168,068,444	17,697,080
引当金の増減額	△ 299,437,502	381,212,023	43,322,962
たな卸資産の増減額	30,743,300	66,507,830	120,411,548
小 計	30,324,742,080	30,557,919,658	29,254,502,705
利息の受取額	306,188	465,495	18,276,438
利息の支払額	△ 2,018,795,057	△ 2,046,243,264	△ 2,116,205,783
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 24,639,880,756	△ 30,550,192,264	△ 34,567,071,227
有形固定資産の取得による支出	△ 25,354,009,980	△ 31,788,004,515	△ 37,347,925,671
無形固定資産の取得による支出	△ 465,978,772	△ 344,918,800	△ 171,526,146
投資その他の資産の売却による収入	137,090	44,580	29,031,935
他事業体からの出資の回収による収入	9,683,950	11,001,563	11,794,017
基金積立による支出	△ 11,565,341	△ 36,178,683	△ 18,588,131
基金取崩による収入	7,113,260	6,730,756	6,414,882
国庫補助金等による収入	1,174,739,037	1,601,132,835	2,923,727,887
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,823,847,350	9,726,719,325	12,060,461,844
建設改良費の財源に充てるための 企業債による収入	12,293,000,000	18,405,000,000	22,788,000,000
建設改良費の財源に充てるための 企業債の償還による支出	△ 8,547,525,339	△ 11,096,150,220	△ 11,943,183,427
一般会計からの出資による収入	0	3,339,000,000	2,022,000,000
P F I 債務の償還による支出	△ 748,817,040	△ 759,151,033	△ 671,087,509
リース債務の償還による支出	△ 172,810,271	△ 161,979,422	△ 135,267,220
資 金 増 減 額	6,490,219,805	7,688,668,950	4,649,963,977
資 金 期 首 残 高	34,791,521,562	41,281,741,367	48,970,410,317
資 金 期 末 残 高	41,281,741,367	48,970,410,317	53,620,374,294

(5) 人件費及び職員数等

年 度		4	5	6	7 (予算)
項 目					
人件費(千円)	水道事業計	13,083,218	13,390,526	13,790,616	14,368,950
	損益勘定	11,181,307	11,374,303	11,703,334	12,074,954
	資本勘定	1,901,911	2,016,223	2,087,282	2,293,996
	工業用水道事業計	245,138	241,247	261,080	298,709
	損益勘定	226,177	222,612	242,279	275,958
	資本勘定	18,961	18,635	18,801	22,751
	合 計	13,328,356	13,631,773	14,051,696	14,667,659
職員数(人)	水道事業計	1,445	1,469	1,454	1,446
	損益勘定	1,207	1,221	1,208	1,198
	資本勘定	238	248	246	248
	工業用水道事業計	27	27	27	29
	損益勘定	25	25	25	27
	資本勘定	2	2	2	2
	合 計	1,472	1,496	1,481	1,475
職員一人当たり人件費 (年額・千円)	水道事業計	8,495	8,619	8,880	9,385
	損益勘定	8,583	8,706	8,986	9,439
	資本勘定	8,074	8,214	8,386	9,138
	工業用水道事業計	8,386	8,775	8,795	10,137
	損益勘定	8,295	8,729	8,745	10,034
	資本勘定	9,480	9,317	9,400	11,375
	合 計	8,493	8,622	8,879	9,399
給与改定率 (%)	人事院勧告	0.23	0.96	2.76	—
	人事委員会勧告	0.22	1.04	2.76	—
	水道局	0.22	1.04	2.76	—
平均	年 令	44歳2か月	44歳0か月	44歳9か月	—
	勤続年数	21年2か月	20年11か月	21年8か月	—

(注) ・ 一般職員・再任用職員・会計年度任用職員の給与及び法定福利費と特別職非常勤職員の報酬の合計。

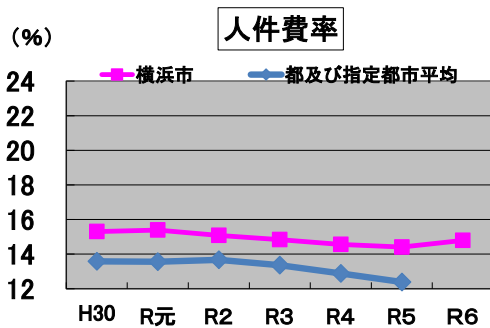
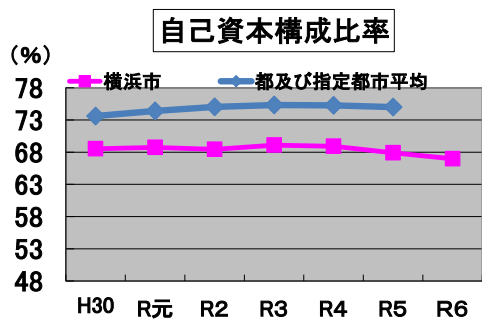
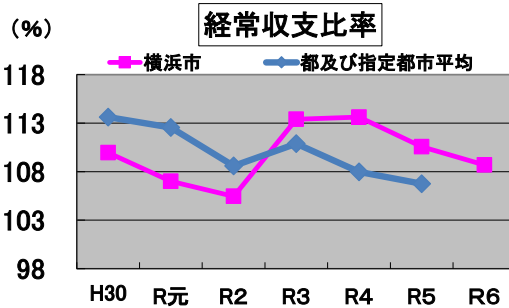
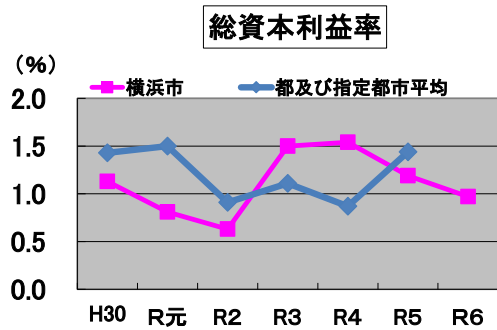
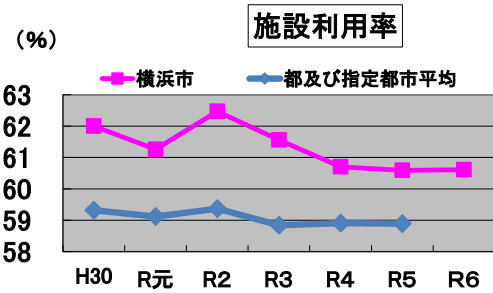
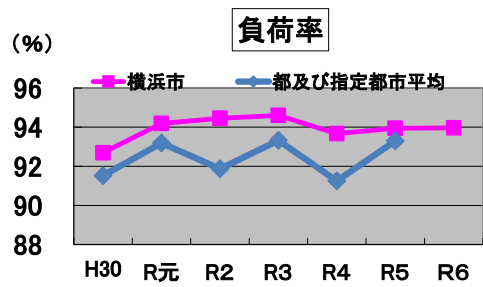
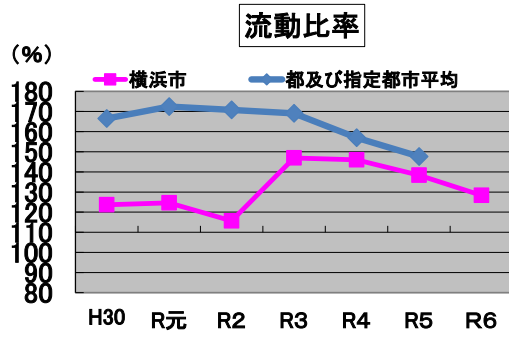
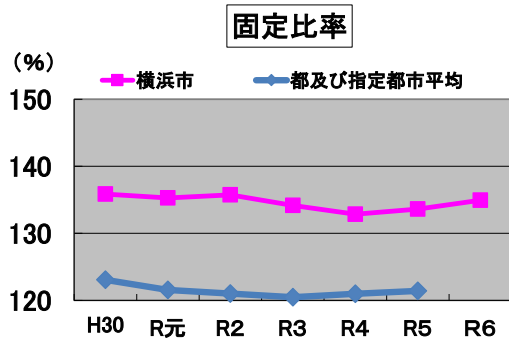
- ・ 職員数は、一般職員と再任用職員の合計。
- ・ 職員一人当たり人件費は、一般職員の人件費（退職給付費除く）を人数で除して算出。
- ・ 平均（年齢・勤続年数）は、一般職員のための年齢・年数。

(6) 財務分析比率

(単位：％)

区分		算式	参考 都及び指定 都市平均 (5)	5	6	7 (予算)
財務 関係 比率	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益}} \times 100$	121.43	133.62	134.93	141.29
	固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+評価差額等+固定負債+繰延収益}} \times 100$	96.93	97.25	97.70	99.10
	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	147.65	138.31	128.32	113.14
	酸 性 試 験 比 率	$\frac{\text{現金預金+未収金-貸倒引当金}}{\text{流動負債}} \times 100$	130.58	129.03	120.20	112.83
	現 金 比 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	131.07	105.34	99.69	90.36
	資 本 負 債 比 率	$\frac{\text{資本金+剰余金+繰延収益}}{\text{負債合計-繰延収益}} \times 100$	231.76	211.52	202.78	191.29
利 用 率	負 荷 率	$\frac{\text{一日平均給水量}}{\text{一日最大給水量}} \times 100$	93.29	93.94	93.96	-
	施 設 利 用 率	$\frac{\text{一日平均給水量}}{\text{一日給水能力}} \times 100$	58.89	60.59	60.61	60.77
	最 大 稼 働 率	$\frac{\text{一日最大給水量}}{\text{一日最大給水能力}} \times 100$	63.12	64.51	64.51	-
収 益 率	総 資 本 利 益 率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{平均負債資本合計}} \times 100$	1.44	1.19	0.97	0.47
	自 己 資 本 利 益 率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{平均自己資本金+平均剰余金}} \times 100$	1.98	1.75	1.44	0.71
	経 常 収 支 比 率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	106.75	110.56	108.68	104.22
	営 業 収 益 対 営 業 費 用 比 率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	101.98	104.67	103.04	99.92
	売 上 高 利 益 率	$\frac{\text{経常利益}}{\text{給水収益}} \times 100$	14.30	11.71	9.82	4.90
そ の 他	自 己 資 本 構 成 比 率	$\frac{\text{資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	74.99	67.90	66.97	65.67
	固 定 負 債 構 成 比 率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	18.96	25.40	25.52	27.95
	企 業 債 償 還 金 対 減 価 償 却 費	$\frac{\text{企業債償還金(借換債を除く)}}{\text{減価償却費-長期前受金戻入}} \times 100$	48.28	60.77	59.86	65.87
	人 件 費 率	$\frac{\text{人件費}}{\text{総費用(特損除、予備含む)}} \times 100$	12.39	14.41	14.79	14.36

- 1 固定比率 … 企業の長期的信用能力をみるための指標 (100%以下が望ましい)
- 2 固定資産対
長期資本比率 … 資産調達源泉である資本に固定負債も含めた場合の企業の長期的信用能力をみるための指標
(100%以下でなければならない)
- 3 流動比率 … 債務の支払能力をみるための指標 (200%以上が望ましい)
- 4 酸性試験比率 … 短期の支払能力をみるための指標 (100%以上が望ましい)
- 5 現金比率 … 短期・即座の支払能力をみるための指標 (20%以上が望ましい)
- 6 資本負債比率 … 企業資本構成の安全度をみるための指標 (100%以上が望ましい)
- 7 総資本利益率 … 経營業績の程度を表す指標 (率は大きいほどよい)
- 8 売上高利益率 … 利幅を表す指標 (率は大きいほどよい)



(7) 企業債

ア 企業債の概要

(ア) 地方債制度の概要

地方債とは、地方公共団体が財政上必要とする資金を外部から調達することによって負担する債務です。地方債は原則として、公営企業（交通、ガス、水道など）の建設事業費の財源を調達する場合などに発行できることとなっています（地方財政法第5条）。

地方債は、本来、各地方公共団体が議会の議決を経て、自らの責任と判断に基づいて発行する独自財源ですが、戦後復興時の社会情勢や資金需要の実勢、地方公共団体間の財政基盤の格差などを考慮し、平成17年度まで、国による「許可制度」がとられてきました。

しかし、平成18年度から、国と地方との役割分担を明確にし、地域の実情やニーズに適った个性的で多様な行政を効率的に展開するといった観点等から、「協議制度」への移行が図られました。これにより、財政状況が健全な地方公共団体は、総務大臣又は都道府県知事に協議を行えば、仮にその同意がなくとも、あらかじめ議会に報告して地方債を発行できることとなりました。

また、地方公共団体の自主性・自立性を高める観点から、平成24年度から、一定の要件を満たす地方公共団体が民間等資金債を発行する場合は、原則として協議が不要な「届出制度」が導入されました。

なお、地方債のうち、地方公共団体が地方公営企業の建設、改良等に要する資金に充てるため起こす地方債を「企業債」と称しています（地方公営企業法第22条）。

(イ) 横浜市水道局における企業債発行の考え方

将来にわたり利用される施設の整備等の建設改良工事については、世代間負担の公平性を図るため、一定程度の企業債を発行することが必要となります。

本市では、経営健全化の観点から、令和元年度まで、企業債残高の削減に取り組み、ピーク時と比較し約600億円以上の残高削減を行ってきました（平成13年度=2,159億円→令和元年度=1,524億円）。

しかし、浄水場や管路等の水道施設は高度経済成長期に整備されたものが多く、今後、西谷浄水場の再整備や大口径管路の耐震化など、多額の資金需要が見込まれています。

これらの更新・耐震化を着実に進めていくため、令和6年度から、建設改良費（特定財源を除く）に対する企業債の充当率を40%から50%程度に見直し、水道料金収入と企業債収入のバランスをとりながら、適切に財源確保を図っていくこととしました。

今後とも、施設整備計画や水需要予測に基づく収支見通しをベースに、金利や世代間の公平性を確認しながら、将来の財政硬直化を招くことがないように、適切に企業債を活用していきます。

イ 企業債未償還残高（各年度末）

（単位：千円）

年 度		5	6	7（予算）
事 業 別	項 目			
事業別	配水管整備	98,782,105	112,254,173	127,338,610
	基幹施設整備	66,846,026	64,227,384	61,414,283
	相模貯水池大規模建設改良	17,802	9,192	3,832
	計	165,645,933	176,490,749	188,756,725
資金別	財政融資	(60.9) 100,924,494	(65.9) 116,281,513	(71.0) 134,141,056
	地方公務員共済組合	(0.2) 288,000	(0.1) 146,800	(0.0) 50,800
	地方公共団体金融機構	(18.1) 30,023,166	(15.4) 27,144,580	(13.0) 24,473,429
	市場公募	(10.1) 16,689,036	(7.9) 14,043,375	(5.0) 9,397,714
	銀行等引受	(10.7) 17,721,237	(10.7) 18,874,481	(11.0) 20,693,726
	計	(100.0) 165,645,933	(100.0) 176,490,749	(100.0) 188,756,725

（注） 1 （ ）内は構成比で単位％。

2 地方公務員共済組合には、地共済連合会を含む。

3 7（予算）は、6年度決算額に7年度中発行予定額（6年度繰越3,571,000千円を含む）を加え、7年度中償還予定額を減じた額。

<参考> 公的資金補償金免除繰上償還等（平成19～24年度）

国において、平成19～24年度にわたり、補償金を支払わずに繰上償還することや、民間資金等で低金利借換をすることが可能となる制度が臨時特例措置として設けられました。

この制度の実施を受け、本市水道事業においては、平成19年度、平成22～24年度に公的資金199億3,300万円について、繰上償還と低金利借換を行った結果、平成20～令和3年度まで支払予定であった利息45億7,700万円が軽減されました。

ウ 利率別未償還残高内訳

(単位：千円)

利 率 \ 年 度	R 5	6	7 (予算)
0.5%未満	26,695,154 (16.1)	24,774,538 (14.0)	17,682,923 (9.2)
0.5%以上1.0%未満	38,664,304 (23.3)	36,047,919 (20.4)	34,931,406 (18.2)
1.0 " 1.5 "	21,687,579 (13.1)	20,761,914 (11.8)	19,828,502 (10.3)
1.5 " 2.0 "	44,878,830 (27.1)	45,616,008 (25.9)	48,072,564 (25.0)
2.0 " 2.5 "	31,735,352 (19.2)	48,395,962 (27.4)	44,869,747 (23.3)
2.5 " 3.0 "	1,138,260 (0.6)	596,867 (0.3)	26,942,583 (14.0)
3.0 " 3.5 "	585,928 (0.4)	297,542 (0.2)	0 (0.0)
3.5 " 4.0 "	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
4.0 " 4.5 "	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
4.5 " 5.0 "	260,526 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
計	165,645,933 (100.0)	176,490,750 (100.0)	192,327,725 (100.0)
平 均 利 率	1.22%	1.21%	1.41%
最 高 利 率	4.65%	3.15%	2.80%

(注) 1 () 内は構成比で単位%。

2 7 (予算) は、6 年度決算額に、7 年度中発行予定額 (6 年度繰越3, 571, 000千円を含む。財政融資債予定利率2.70%) を加え、7 年度中償還予定額を減じた額。

(8) 国庫補助金等の収入額

(単位:百万円)

項目	補助率	年 度				
		3	4	5	6(予定)	7(予算)
導水管・送水管耐震化事業	1/3 又は 1/4	-	-	-	-	65
基幹水道構造物の耐震化事業		35	16	1	12	22
導水管・送水管複線化事業		-	-	-	-	562
重要施設配水管		-	-	-	80	207
生活基盤施設耐震化等効果促進事業		-	21	4	6	-
水道施設再編推進事業		18	275	812	4,564	1,651
水道施設機能維持整備費		-	17	-	-	-
水道事業におけるIoT・新技術活用推進モデル事業		-	-	6	-	-
二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金等	1/2	-	63			
クリーンエネルギー自動車導入促進補助金	1/1 ～ 1/4	-	-			
合計		53	392	823	4,662	2,507

